

地区名 小須戸地区

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉懇談会（7/27、1/16） ・コミ協三役と今後の取り組みについての打ち合わせ（8/19、9/15） ・コミ協福祉部会長と今後の取り組みについての打ち合わせ（10/7、10/28） ・移動支援検討会（10/12 第1回検討会、12/15 第2回検討会、1/5 事務局との打ち合わせ） ・地域お手伝い隊（4/26 説明会、10/20 反省会） ・ワークセンターほほえみとの打ち合わせ（9/22） ・小向の茶の間（立上げ相談、7/17 準備会、9/4 立ち上げ） ・小須戸小・中学校生と合同避難訓練（11/12） ・おせち料理配食事業（12/14 小須戸中学校との打ち合わせ、12/30 訪問） ・だんだん嶋岡（7/27 子どもの居場所、12/13 今後についての打ち合わせ）
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響は大きく、茶の間の参加者も減少している。また、子どもたちも茶の間に参加しやすいよう検討していきたい。 ・地域お手伝い隊の活動を通して、安全に配慮した活動内容や範囲などの整理と検討が必要である。 ・ワークセンターほほえみと地域とのふれあいの機会が減っている。地域お手伝い隊の協力もしたい。 ・地域と子どもとの交流の機会が減少しており、子どもたちの社会参加への関心が低い。 ・タブレットの普及から子どもたちの対面の交流が少なくなっている。対面での交流も大切であり、子どもたちの意見を取り入れた放課後の居場所について考えていきたい。 ・コミ協の取り組みが地域に上手く伝わっていない。もっと周知や広報していく必要がある。
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の交流が減少したことで、茶の間の重要性を感じるようになった。町内に茶の間があることで、高齢の方も歩いてくることができている。 ・地域お手伝い隊を利用された方の声から活動の必要性を感じた。 ・おせち料理配達の中学生ボランティアが意欲的に取り組んでいた。 ・移動支援の検討ができた。対象となる高齢者からも関心を持ってもらえている。 ・避難所運営を通して自治会とのつながりができた。 ・だんだん・嶋岡で子どもの居場所を開催することができた。
<p>活動の様子</p>	
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の茶の間の運営の検討と活動の継続 ・地域お手伝い隊の活動の検討（安全に配慮した活動内容、ワークセンターほほえみとの連携） ・子どもたちのつながりの場の検討 ・コミュニティスクールとの連携 ・避難所運営の推進 ・移動支援の検討継続 ・活動の周知、PR 方法の検討 ・だんだん・嶋岡での子どもの居場所づくり、生活支援検討

[参加者] 小須戸コミ協：木村会長、佐藤副会長、大貫事務局長、小須戸コミ協福祉部会：長澤部会長、米田部員、五十嵐部員、地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員：土屋委員、小合・金津・小須戸圏域支え合いのしくみづくり会議：大貫構成員（だんだん・嶋岡）、秋葉区社協：横山、藤田、時田